

科目名	教化学演習 B					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	演習	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	2392

●授業のテーマ

宗祖親鸞聖人の「生涯」と「思想」に学ぶ

●到達目標

真宗大谷派教師として、①親鸞の生涯に関する基礎的知識を習得する。②親鸞が大切にした法語、明らかにした思想を学ぶことを通して、自分自身のあり方・生き方を問い尋ねられるようになる。

●学習内容(授業概要)

テキスト『宗祖親鸞聖人』の記述に従いながら、①親鸞の生涯を尋ね、どのような生き方をしたのかを学んでいく。そして、それだけにとどまるのではなく、②親鸞が明らかにした思想(教え)を学ぶことを通して、私たち一人ひとりのあり方・生き方を問い尋ねていく。

本講は、受講生の発表と討論を主軸とした「演習」形式で進めていく。親鸞の生涯と思想を、知識としてただ学ぶのではなく、我々の問題(現代の諸問題)と結びつけながら、アクチュアル(現実的)な課題として、一緒に考えていきたい。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 演習のガイダンス
2. 発表者(発表箇所)の決定と導入講義
3. 第一章 人と生まれて(本文)
4. 第一章 人と生まれて(法語)
5. 第二章 発心(本文)
6. 第二章 発心(法語)
7. 第三章 道を求めて(一) —懸命の修学—(本文)
8. 第三章 道を求めて(一) —懸命の修学—(法語)
9. 第四章 道を求めて(二) —六角堂参籠—(本文)
10. 第四章 道を求めて(二) —六角堂参籠—(法語)
11. 第五章 本願に帰す(本文)
12. 第五章 本願に帰す(法語)
13. 第六章 法難(本文)
14. 第六章 法難(法語)
15. 前期の総括(まとめ・テスト)

《後期》

1. 前期の復習
2. 第七章 民衆にかえる(本文)
3. 第七章 民衆にかえる(法語)
4. 第八章 大悲に生きる〈総論〉
5. 第八章 大悲に生きる(一) 愚者になりて
6. 第八章 大悲に生きる(二) 正定聚に住す
7. 第八章 大悲に生きる(三) 悪人正機
8. 第八章 大悲に生きる(四) 弟子一人ももたず

9. 第八章 大悲に生きる（五）善鸞義絶
10. 第八章 大悲に生きる（六）念仏者のしるし
11. 第八章 大悲に生きる（七）無碍の一道
12. 第九章 仏道に捧ぐ（本文）
13. 第九章 仏道に捧ぐ（法語）
14. 後期の総括
15. 全体の総括（まとめ・テスト）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…テキスト『宗祖親鸞聖人』を講読して、不明な点があれば事前に調べてくること。特に発表者は、担当箇所を精読してレジュメ（資料）を作成してくること。

「事後学習」…授業で学んだ内容を復習して、そこから自分なりの課題や問題を見出すこと。

●成績評価方法・基準

平常点（出席・発表・受講態度など）50%、期末試験（筆記またはレポート）50%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『宗祖親鸞聖人』、著者名：教学研究所、出版社：東本願寺出版部

≪No.2.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

テキストは必ず持参すること。

受講生との応答を大切にしながら、授業を進めていきたい。授業への積極的な参加・発言を望む。